



Press Release

【報道関係各位】

【速報】2024年スポーツマーケティング基礎調査

スタジアム観戦市場が昨年比 57.0%増と大幅伸長
メジャーリーグ（MLB）のファン人口は昨年比 23.8%増と大幅増、5年連続で増加

2024年10月30日

株式会社マクロミル

(コード番号：3978 東証プライム)

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表執行役社長 CEO：佐々木 徹）と、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：池田 雅一）は、共同企画として「2024年スポーツマーケティング基礎調査」を実施し、その調査結果速報版を発表いたします。

本調査は、全国の15歳（中学生を除く）～69歳のマクロミルの調査専用パネルに対して実施し、男性1,000人、女性1,000人、計2,000人の回答を得ました。〔調査期間：2024年9月13日（金）～14日（土）の2日間〕

なお、本企画はスポーツへの関心、参加意向、消費意向などの調査を通じて国内スポーツ市場の実態を明らかにし、データに基づいたスポーツ経営やスポーツ振興に役立つ資料整備に向けた取り組みとして2004年から始め、今年で21回目となります。

【トピックス】

- スポーツ参加市場規模は約1.7兆円で昨年比24.0%増。スタジアム観戦市場が昨年比57.0%増と大幅伸長。
- メジャーリーグ（MLB）のファン人口（1,133万人）が昨年比23.8%増と大幅伸長し、5年連続で増加。日本のプロ野球チームのファン人口（2,210万人）は昨年比4.4%増、Jリーグチームのファン人口（952万人）は昨年比11.5%増。
- 好きなスポーツ選手、ランキング第1位は大谷翔平選手で7年連続。第2位は三笥薫選手、第3位は石川祐希選手。バレーボール選手が躍進し、第5位には高橋藍選手もランクイン。
- バレーボール人気が上昇。パリオリンピックでの観戦率が21.5%と種目中最多、「最も好きなスポーツ」や「よく観戦するスポーツ」も伸長。
- 日本のプロ野球チームの球団別ファン人口は「阪神タイガース」が最多の415万人。
- スポーツ観戦する際に最も多く利用している端末はテレビ。30代以下はテレビよりもスマートフォンでの閲覧が多く、40代以上でテレビとスマートフォンが逆転。
- スポーツ関連の情報入手先はテレビが過半数で最多。ポータルサイト、動画配信、SNSなどのネットメディアも増加。
- 「ダイナミックプライシング」活用のスポーツチケット販売、認知率は約2割。

【調査結果詳細を抜粋】

■ **スポーツ参加市場規模は約 1.7 兆円で昨年比 24.0%増。特にスタジアム観戦市場が昨年比 57.0%増と大幅に伸長。**

スタジアム観戦、用品の購入、施設利用・会費・スクール料など、過去 1 年間のスポーツ活動への参加にかかる支出を対象としたスポーツ参加市場規模は 1 兆 7,257 億円となった。【図表 2 参照】

図表 2. スポーツ参加市場規模

	観戦率/購入率/支出率	年間平均支出額	市場規模 (昨年比)
スタジアム観戦市場	20.30%	51,411円 (n=406)	8,151億円 (+57.0%)
用品購入市場	13.20%	36,331円 (n=263)	3,655億円 (+14.7%)
施設利用・会費市場	12.70%	57,052円 (n=254)	5,451億円 (-1.6%)
スポーツ参加市場規模の合計	—	—	1兆7,257億円 (+24.0%)

(注)年間平均支出額は、支出を行った人の平均支出額。

市場規模は 15 歳～69 歳を対象とした市場。年齢階層別の平均支出額×年齢階層別人口×支出率を市場別に算出し合算。

年齢階層別人口には、総務省「住民基本台帳に基づく人口」(令和 6 年 1 月 1 日現在)を利用。

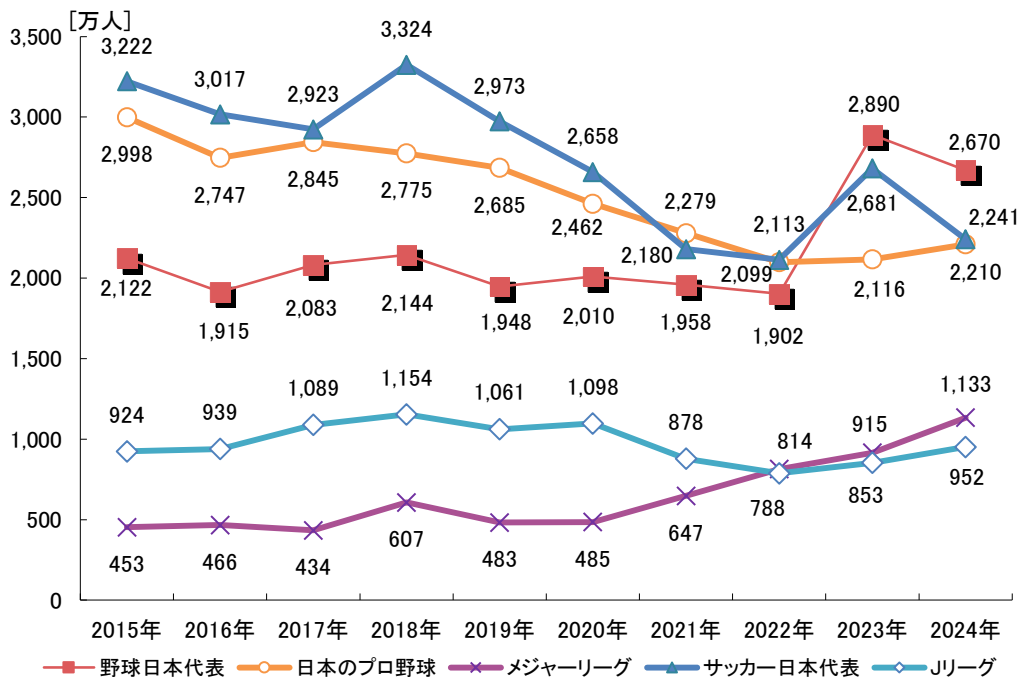
昨年比、昨年との差は端数処理前の数値により算出(以降の図表なども同様)。

■ **メジャーリーグ (MLB) のファン人口 (1,133 万人) が昨年比 23.8%増と大幅伸長し、5 年連続で増加。日本のプロ野球チームのファン人口 (2,210 万人) は昨年比 4.4%増、Jリーグチームのファン人口 (952 万人) は昨年比 11.5%増。**

メジャーリーグ (MLB) のファン人口を推計すると 1,133 万人 (昨年比 23.8%増) と大幅に増加し、5 年連続で上昇トレンドである。日本のプロ野球ファン人口は 2,210 万人 (昨年比 4.4%増) となった。球団別では阪神タイガースが最多で 415 万人。また、野球日本代表 侍ジャパンのファンは 2,670 万人となった。

Jリーグのファン人口を推計すると 952 万人 (昨年比 11.5%増) となった。WEリーグのファンは 147 万人となった。サッカー日本代表 SAMURAI BLUE のファンは 2,241 万人、なでしこジャパンのファンは 832 万人となった。【図表 5、6 参照】

図表 5. 野球日本代表、日本のプロ野球、サッカー日本代表、Jリーグのファン人口の推移



図表 6. 球団別プロ野球ファン人口推計

プロ野球球団	ファン人口
阪神タイガース	415万人
読売ジャイアンツ	369万人
福岡ソフトバンクホークス	240万人
中日ドラゴンズ	208万人
北海道日本ハムファイターズ	198万人
プロ野球ファン総数	2,210万人

(注) 推計値は15～69歳のファン人口。年齢階層別のファン率×年齢階層別人口を算出し合算。年齢階層別人口には、総務省「住民基本台帳に基づく人口」(令和6年1月1日現在)を利用。ファンの多い上位5チームを抜粋。

■ **好きなスポーツ選手、ランキング第1位は大谷翔平選手で7年連続。第2位は三笥薫選手、第3位は石川祐希選手。バレーボール選手が躍進し、第5位には高橋藍選手もランクイン。**

米大リーグで活躍している大谷翔平選手は、7年連続で好きなスポーツ選手の第1位、昨年に引き続き第2位はサッカー英プレミアリーグで活躍する三笥薫選手である。また、第3位の石川祐希選手、第5位の高橋藍選手などパリオリンピックなどの国際試合で活躍したバレーボール選手が躍進した。【図表 16 参照】

図表 16. スポーツ選手の好感度 [複数回答] (各年 n=2,000)

	2022年		2023年		2024年	
1位	大谷翔平	26.0%	大谷翔平	30.7%	大谷翔平	29.2%
2位	三浦知良	11.2%	三笥薫	13.4%	三笥薫	12.9%
3位	池江璃花子	10.1%	吉田正尚	9.1%	石川祐希	10.9%
4位	石川佳純	10.0%	池江璃花子	9.0%	ダルビッシュ有	10.3%
5位	平野歩夢	8.8%	ダルビッシュ有	8.9%	高橋藍	10.1%

■ 調査結果のフルバージョンはこちら (PDF)

https://www.macromill.com/wp-content/uploads/files/press/release/pdf/20241030_macromill.pdf

■ 調査概要

調査の趣旨	マクロミルと三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングは、データに基づいたスポーツ経営やスポーツ振興に役立つ資料整備に向けた取り組みとして、スポーツマーケティング基礎調査を共同で実施しています。今年で21回目となる本調査では、これまでの調査結果を踏まえて、生活者のスポーツに対する意識や消費行動の変化を把握します。
調査方法	インターネットリサーチ
調査対象者	全国 15 歳 [※] ～69 歳 (マクロミルモニタ会員) ※中学生を除く
有効回答人数	2,000 人
対象割付	性別×年代 (15～29 歳、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳、60～69 歳) : 男女各 200 人 地域 (北海道・東北 : 210 人、東京 : 240 人、その他関東 : 480 人、中部 : 360 人、近畿 : 320 人、中国・四国 : 170 人、九州・沖縄 : 220 人)
調査期間	2024 年 9 月 13 日 (金) ～14 日 (土)

● 本資料・データの使用・掲載について

本調査結果の引用に際しては、必ず下記のクレジットを明記してください。

「マクロミルと三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングによる共同調査」

● レポートの販売について

2024 年 11 月下旬に三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングからフルバージョンのレポートを販売予定です。詳細は下記サイトをご覧ください。

なお、本リリースに掲載の調査結果は、全設問項目の中から抜粋して作成した速報値です。フルバージョンのレポートにお

いて、データが修正される場合がありますのでご了承ください。

URL : <https://www.murc.jp/information/sportsmarketing/>

●ご利用に際して

本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず「出所：マクロミルと三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングによる共同調査」と明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

以上

【マクロミルの概要】

社名 : 株式会社マクロミル
所在地 : 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 11F
設立 : 2000年1月31日
代表者 : 代表執行役社長 CEO 佐々木 徹
事業内容 : マーケティングリサーチおよびデジタル・マーケティング・ソリューションの提供

【三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングの概要】

社名 : 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
所在地 : 東京都港区虎ノ門 5-11-2 オランダヒルズ森タワー
設立 : 1985年10月
代表者 : 代表取締役社長 池田 雅一
事業内容 : コンサルティング、政策研究、経営情報サービス、人材開発、マクロ経済調査

－ 本件に関するお問い合わせ先 －

株式会社マクロミル 広報・ブランドマネジメント部 金子、度會（わたらい）

TEL : 03-6716-0707 MAIL: press@macromill.com

URL: <https://www.macromill.com>